

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
剰余金の配当 3月31日  
中間配当を行う場合 9月30日  
そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

- 公告方法 電子公告 (<http://www.se-corp.com/ir/koukoku.html>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○配当金計算書について  
租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、2020年の確定申告の添付書類としてご使用ください。  
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収額の計算は証券会社等にて行われますので、2020年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

## ホームページのご案内



当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報はもちろんのこと、当社をより理解していただくための様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.se-corp.com>



バクダン橋（ベトナム：ハロンーハイフォン間 全長5kmの渡河橋）

# 株主通信

第38期

2018年4月1日～2019年3月31日

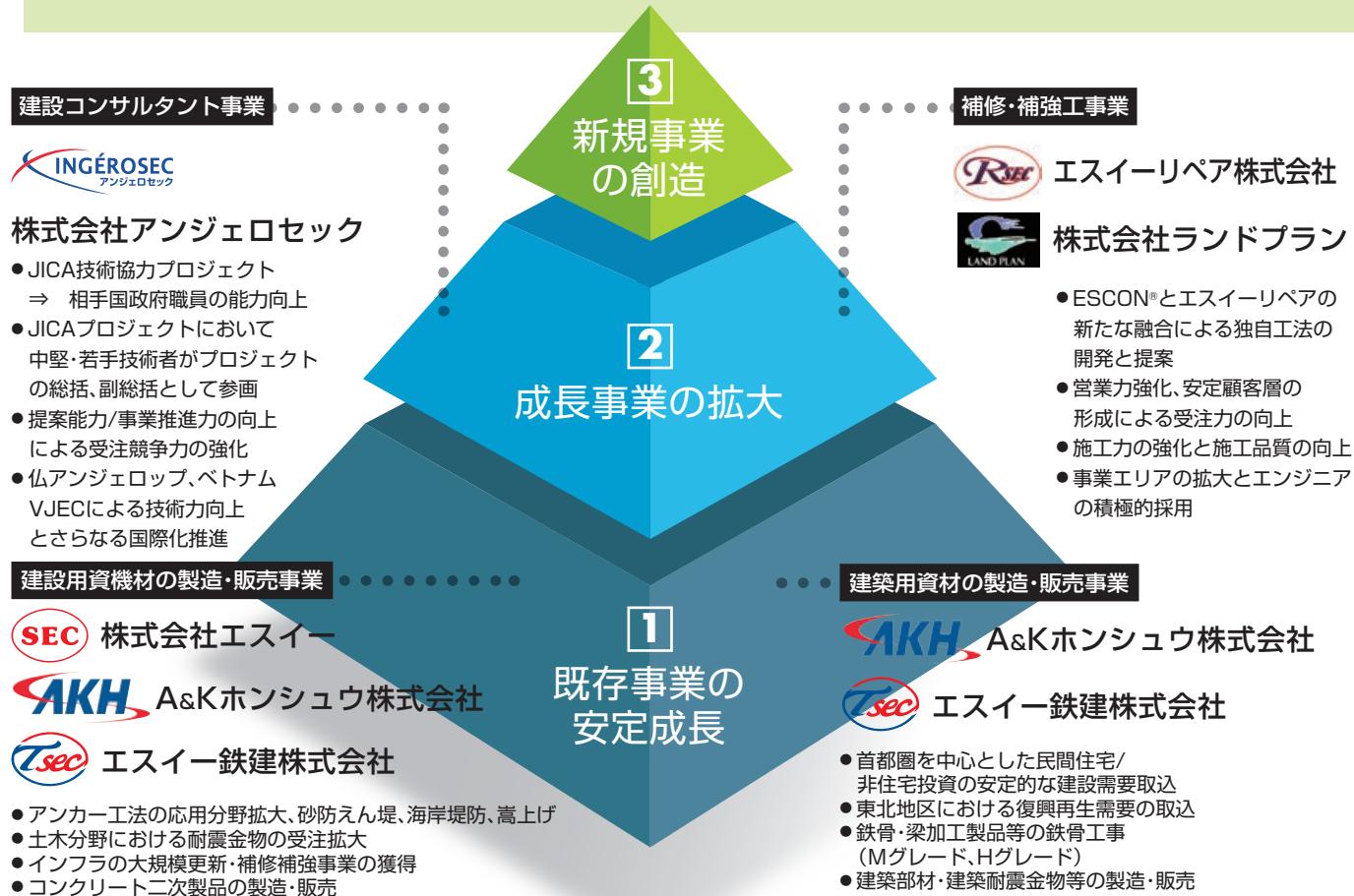
## ●目次

- ーエスイーグループの戦略
- ー特集 Special Interview
- ー社長インタビュー
- ー連結決算ハイライト
- ー事業の状況
- ー連結財務諸表
- ー会社情報
- ー株式情報

# エスイーグループの戦略

エスイーグループでは、既存事業の安定成長と成長事業の拡大のみに留まらず、さらなる発展のための成長戦略に挑戦してまいります。

## 戦略的 M & A の推進 超高強度合成繊維補強コンクリート(ESCON®)の事業拡大とマーケティング 海外事業展開



特集  
Special Interview

株式評論家・櫻井英明氏が聞く、  
変化の中での事業展開と成長戦略



社会的ニーズに応え、「変化と新しい価値の創造」に挑戦する  
エスイーグループ

社会インフラの老朽化対策、防災・減災を担う既存事業の安定的な成長を図りながら、戦略的M&Aの推進や海外事業展開を通じて、成長事業の拡大および新規事業の創造に挑戦するエスイーグループ。その事業の現状や将来に向けた成長戦略などについて、今年も株式評論家の櫻井英明氏が森元峯夫会長に話を聞きました。

森元峯夫 × 櫻井英明



**プロフィール 森元章夫**  
 (株)エスイー代表取締役会長。(株)アンジェロセック代表取締役CEO。工学博士。フランス共和国国家功労賞コマンドゥール勲章、国際プレストレストコンクリート連合FIPメダルなど受賞多数。

### M&Aも奏功し、旺盛な需要を背景に順調に事業が成長

- 櫻井** まず、ここ最近の日本や世界の変化をどのように捉えていらっしゃるかお聞かせください。
- 森元** 国内を見れば、超高齢化社会の進展によって働き手不足が深刻化していますが、私は、これは新しい産業が誕生するきっかけになると考えています。また、平成の最後10年間は、特に多くの自然災害に見舞われました。我々も日夜、復旧に努めましたが、災害の頻発・激甚化が顕著になってきていますね。
- 櫻井** 世界に目を向けると、新興国でのインフラ整備も進んでいきますね。
- 森元** 当社が注力している市場の一つにベトナムがあります。日系企業の製造拠点が中国からベトナムへとシフトする中で、ベトナムではインフラ整備も加速し、人口9,000万人で7%の経済成長を実現しています。またアフリカも、依然として紛争地域はあるものの、南アフリカや西アフリカの石油産出国は社会的に安定し、港湾をはじめとするインフラ整備が進んでいます。

- 櫻井** そうした世界のインフラを支える御社の現状を伺いたいと思います。まず事業全般の状況はどうですか。
- 森元** 2018年1月にグループ化したA&Kホンシュウのホンシュウ事業部が、建設用資機材の製造・販売事業の好業績に寄与しています。さらに都心オフィスビルの空室率が1.9%と稼働率が非常に高い中で、東京オリンピック関連や都心再開発の工事も順調に進捗しており、旺盛な需要に支えられ、今後3-4年間は安定した伸びが期待できます。また、1970年代に整備された橋梁やトンネル、道路等の老朽化対策として維持管理や更新などの需要もあり、補修・補強工事を手掛けるエスイーリペアを中心にさらなる成長が見込めます。

- 櫻井** M&Aが奏功してきているということですね。
- 森元** そうですね。A&Kホンシュウは優秀な人材と高い技術を武器に、非常に成功したM&Aだと評価しています。エスイーリペアも従来の橋梁・トンネル分野に加え、水力発電所の導水路補修分野で大型工事を相次いで受注しており、選別受注ができる状態となっています。利益重視型の経営を推し進め、さらに利益率の高い会社へと成長させていきたいですね。

- 櫻井** 災害復旧関連ビジネスはいかがですか。
- 森元** 地震、津波、豪雨・豪雪、地滑り、河川の氾濫など、昨今の自然災害の激甚化・頻繁な発生を受けて、昨年12月に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が閣議決定されました。こうしたインフラ整備のほとんどに当社は携わっていますが、国の予算も従来の6兆円強から7兆円へと拡大しており、しばらくは旺盛な需要に支えられて堅調に推移すると見えています。

### オリンピック開催でさらに進む、真の国際化と地方創生

- 櫻井** 東京オリンピックも控えています。私には、政府が東京オリンピックをゴールというよりスタートだと捉えているようにも思えますが。
- 森元** 私もそう思います。オリンピック開催によって、例えば大きなスタジアムを建設すれば、それは周辺の

インフラ整備にもつながりますから、大きな刺激となります。加えて、今回のオリンピック開催を、日本が本当の意味で国際化するためのきっかけにしようとしているようにも思えます。私たち自身が国際化するのだと国民一人ひとりが認識する、新しい国際化の時代到来を意味していると思います。

- 櫻井** 2020年以降を見据えたレガシー創出のための「beyond2020プログラム」も地方創生と推進されていますね。
- 森元** 地方創生こそが日本を強くする源だと思って、当社では地方創生にも力を入れています。現状は、まだまだ文化・生活・経済の面で地方を十分に活かしていませんが、おもてなしも含めてオリンピック開催が地方創生に大きなインパクトにつながればと思っています。1964年の東京オリンピックは、私は留学先のフランスで見えていたんです。その時、フランス人の友人らが、発展途上国とされていた日本に走っている新幹線の映像を見て、日本はすごい国だねと言ってきまして、ひととき感動したことを思い出します。今回も、地方都市の交通インフラの利便性向上に弾みがつけばと思っています。

### アフリカ・ベトナムを中心に世界へ広がるエスイーの海外事業

- 櫻井** 海外ではどのような事業展開をされていますか。
- 森元** 一つはフランスの大手建設エンジニアリング会社INGÉROP社と合併で設立したアンジェロセックの事業があり、アフリカのフランス語圏での事業展開を通じて非常に伸びています。INGÉROP社がアフリカに展開している3つの子会社と連携しながら、フランスのシステムや仕様書をフランス語で提供できるため、現地政府からも高く評価され、道路、橋梁、河川堤防などの防災施設の調査、計画、設計および施工監理において、当社グループをプロジェクトのリーダーとして選定していただける機会に多く恵まれています。
- 櫻井** アフリカは非常に魅力があるんですね。
- 森元** そうですね。もう一つはベトナムで、PPPを通じて、



**プロフィール 櫻井英明**  
 ストックウェザー「兜町カタリスト」編集長。最新経済動向を株式市場の観点から分析した独特の未来予測に定評がある。ラジオNIKKEIでは火曜「ザ・マネー 櫻井英明のかぶとびら」、木曜「櫻井英明の投資知識研究所」などに出演。

全橋長5kmの日越友好の橋であるバクダン橋を架け、昨年9月に開通しました。

- 櫻井** 5kmの橋って、とても長いですね。
- 森元** とても長いです。当社は2007年にベトナム国立建設大学の附属機関と共に日越建設コンサルタント(VJEC)を設立し、ベトナムの大規模国策事業であるハノイハイフォン間の高速道路の施工監理業務をVJECが受注しました。高速道路の建設では、山の地滑り対策が欠かせませんので、当社は今後「ESCON」の技術提供も行っていきます。そしてベトナムを拠点に、隣国のカンボジア、ラオス、さらにはインドネシアやマレーシアへの展開も検討しています。

PPP : Public Private Partnership (官公庁と民間の提携事業方式)

### CO<sub>2</sub>も放射性物質も出さない新エネルギー発電事業の実用化に向けて

- 櫻井** 新規事業という意味で、エネルギー関連事業はどうですか。
- 森元** エネルギー関連では、風力・太陽光といった代替エネルギーの利活用が発展途上の中で、CO<sub>2</sub>と放射線問題

に今後どう対処していくかが世界的な課題となっています。その中で当社では、CO<sub>2</sub>も放射性物質も発生しないエネルギー発電の研究開発を進めてきました。実験装置の大型化や人材の強化を図り、数種の基本特許も取得しました。今年度、基本モデルの設計、製作、工場建設の検討など、実用化に向けたさらなる準備を進め、2022年度には新エネルギーによる発電開始を目指します。これからの時代は、消費地に近いところでCO<sub>2</sub>も放射性物質もない発電が可能になる。そうイメージしていただければと思います。

**櫻井** 安心・安全であれば、住宅地の近くにも発電所が置けるようになりませぬ。

**森元** そうです。加えて、送電線の問題も起きないシステムにもなります。地方の産業と絡めることで、地方創生にもつながります。海外でも、電力インフラの整備されていない地域に燃料工場を作れば、大きな社会貢献になると思います。人のため、国のため、社会のためになる事業であり、私もライフワークとして進めていきます。

## M&Aと発電事業、そして「ESCON」が成長ドライバーに

**櫻井** 完成が楽しみです。次にグループの成長戦略について教えてください。これまでM&Aで事業を拡大されてきましたが、そこで重視されるポイントはどのような点ですか。

**森元** M&Aにおいては、優秀な人材、優れた技術であることに加え、事業を育成することで将来性があるかという視点も大事にしています。

**櫻井** 成長力を持っているかどうかということですね。

**森元** そうです。当社はまだ小さな会社ではありますが、M&Aと発電事業、そして「ESCON」が当社の成長を牽引していきます。

**櫻井** その「ESCON」について、成長力となる背景等を教えてください。

**森元** 2025年には日本の平均年齢は51歳と世界最高齢社会になることが予測されています。また、年間出生数はすでに100万人を割っており、若年層の減少も

深刻化していきます。高齢化社会が進展すると税収が減り、人口減により自動車台数も減少していきますから、高速道路等の修繕に必要な財源が減っていきます。加えて自然災害が増加している。そのような中で、社会インフラにも、100年以上の耐久性のあるものが求められています。「ESCON」は、高強度のコンクリートの使用により構造部材の軽量化が可能になるだけでなく、腐食劣化しないコンクリートの使用により耐久性が向上し、構造物の長寿命化および維持管理費・更新費の大幅な削減が可能となる、この時代の要請に応える画期的な工法・技術です。「ESCON」の将来性に自信を持っていらっしゃるのですね。

**森元** ゆるぎない自信があります。

**櫻井** 高速道路が完成すると、その「ESCON」が外から見えなくなってしまうのがとても残念ですね。

**森元** そうなんです。ですから会社の中身をもっと見えるようにPRにも注力しなければいけませんね。

**櫻井** “見える”という意味では、昨年北海道で起きた地滑りの映像がとても脅威でした。

**森元** 日本には地滑りの危険性がある箇所が2万超あり、また2,000超の活断層もあると言われています。しかし予算の関係上、災害後に直していくという後追いでの対応しかできていないのが現状です。災害大国ですから、本来は災害を未然に防げるような体制にしていかなければなりません。

**櫻井** そういう意味では、技術や能力のさらなる活用が求められるのだと思いますが。

**森元** そうです。そのためには、いつまでも税金を使って安定を図るのではなく、他の産業と同じように競争の原理をもう少し入れていかなければいけません。事業は国のため、人のために益するものでないといけない。だから経営者は、会社を成長させるためにいろいろな施策を打っていかねばいけません。

**櫻井** 明治時代の土木工学者が「私が一日休むと国家の発展が一日遅れる」と言ったエピソードもありましたが、まさにそういう状況ですね。



## 利益重視の経営でさらなる成長を図る

**櫻井** 最後に、前期業績と今後の業績見通しについて教えてください。

**森元** 利益重視の経営は今後も変わりません。2018年度は売上224億円／経常利益10億79百万円であったのに対し、2019年度は売上228億円／経常利益11億50百万円を目標とします。中期的には2021年度に売上250億円／経常利益13～14億円の達成を目指し、

2023年度には既存の各事業の売上高の総計として300億円、経常利益20億円の規模へと成長させていきたいと思っています。また、M&Aも引き続き積極的に検討していきます。

**櫻井** エスイーグループのさらなる成長を楽しみにしています。新しいエネルギーが開発されましたら、発電所も見学させてください。本日はありがとうございました。

## インタビューを終えて

「豊かな社会環境、自然との調和を目指し、新しい価値を提供しつづける」という基本姿勢のゆるぎなさを何度も感じた取材でした。環境の変化はあるものの「内外の国家のインフラ建設と整備」に対する原点がブレないことは重要なファクター。「利益優先」経営の徹底と戦略的M&A効果で売上高・営業利益は伸長。「世界的エンジニアリングメーカー」の完成への道を歩まれている様子。「エスイーグループの進歩が一日遅れば、世界のインフラの発展も一日遅れる」のだという印象を受けました。

櫻井英明

## 半世紀にわたって築きあげた経営基盤を核に、 事業を通じて社会課題の解決に貢献していきます。

前期に引き続き増収・増益を達成した第38期。既存事業は旺盛な需要を背景に安定的に成長し、さらなる成長ドライバーとして、アジア・アフリカの社会インフラ整備や環境保全、老朽化の進む国内社会資本の補修・補強工事等にも注力しています。今般、新たに社長に就任された宮原一郎氏に、エスイーの取り組みと今後の成長戦略についてお話を聞きました。

代表取締役社長 宮原 一郎



### 当期（第38期）の業績の振り返りをお聞かせください。

当期は前期比で増収・増益を達成したほか、計画比においても総じて順調に推移したと評価しています。事業セグメント別では、公共事業が主体の「建設用資機材の製造・販売事業」では、公共事業予算の補正実施が追い風となっており、「ケーブル製品」、「鉄鋼製品」、そして「ESCON」を核とする「コンクリート製品」とともに災害復旧目的での納入が増加しました。なかでも超高強度、高耐久性、高流動性を武器に、社会インフラや構造物の強靱化や長寿命化、軽量化を実現する「ESCON」は、当期、受圧板を中心に本格的な販売が進んでおり、次期以降のさらなる飛躍を期待しています。また海外の港湾工事への納入も当セグメントの増収・増益に寄与しました。

「建築用資材の製造・販売事業」では、東北の復興需要はピークアウトしたものの、それを補って余りある需要が東京オリンピック関連を中心に首都圏で続いて

おり、A&Kホンシュウ、エスイー鉄建ともに売上を大きく伸ばしました。オリンピック後も首都圏再開発等の案件が控えており、当セグメントの市場環境は当面追い風が続くと見えています。

「建設コンサルタント事業」では、ASEAN地域やアフリカのフランス語圏を中心に、アンジェロセックがそのエンジニアリング力を活用し、順調に売上を伸ばしました。同業他社が旺盛な国内需要に注力する中で、当社では東ティモールでの道路・橋梁建設等を完工させ、同国から厚い信頼を得ています。

「補修・補強工事事業」では、トンネル、橋梁の補修・補強を強みとするエスイーリペアが水力発電所等の大型工事を相次いで受注しています。グループ内での連携をさらに深めるとともに、喫緊の課題である専門技術者の育成・強化を図り、さらなる成長を推し進めます。

### 今期（第39期）以降の事業戦略についてお聞かせください。

今後2、3年は安定した市場環境が続くと見えています。売上規模の大きい「建設用資機材の製造・販売事業」「建築用資材の製造・販売事業」では、旺盛な需要をしっかりと取り込み、「ESCON」をはじめ当社グループの製品の拡販を図ります。また、アンジェロセックを中心とした海外での「建設コンサルタント事業」とエスイーリペアを中心とした「補修・補強工事事業」は、当社グループの成長分野として、さらなる事業拡大を図ります。創業以来半世紀超にわたって事業を手がけてきたエスイーは、その高い技術、高品質の製品とともに市場における認知が進んでいます。今期は、技術営業から設計までできる工務部を新しく設置し、その陣容を強化することで、エンジニアリング力によるさらなる差別化を図ります。また、PR活動の強化を図り、積極的な採用活動など人員確保にも注力していきます。

### 新社長就任ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、私儀、このたび大津哲夫の後任として、代表取締役社長に就任いたしました。

長年、総合商社において都市開発・建設の事業に携わってきた経験を活かし、半世紀を超えるエスイーのブランド・技術にさらに磨きをかけ、さらなる事業の発展のために尽力してまいりますので、株主の皆様におかれましては一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 略歴

1977年 4月	三菱商事(株)入社
2009年 4月	同執行役員開発建設本部長
2013年 6月	朝日機材(株)取締役副社長
2017年 6月	同 顧問
2017年10月	当社顧問
2018年 4月	当社執行役員 経営企画室長
2018年 6月	当社取締役執行役員 経営企画室長
2019年 6月	当社代表取締役社長 執行役員社長

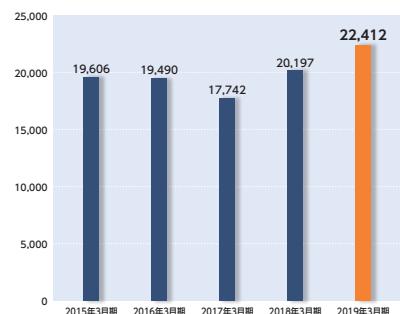
### 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

大津前社長は、創業者である森元会長の脇を支える形で、公共事業に依存しない経営体質への転換を図るべく、「第二創業期」として、積極的なM&Aを通じて建築分野へ進出し、コンクリート製品などにも事業領域の裾野を広げ、経営基盤の安定化に努めてきました。当社グループは、すでに「ホップ・ステップ・ジャンプ」でいうところの「ホップ」の時期は過ぎ、次のステージである「ステップ」、そしてさらなる「ジャンプ」に向けて事業を推し進めています。安全で強靱な社会インフラ整備の一翼を担い、豊かでクリーンで持続可能なまちづくりに貢献を果たす所存です。今後も当社グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

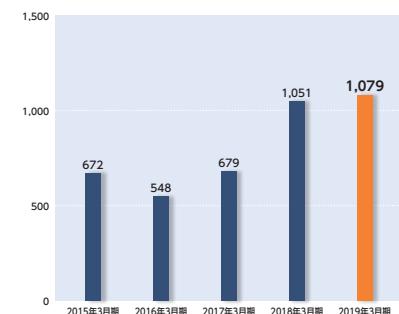


## ● 連結決算ハイライト

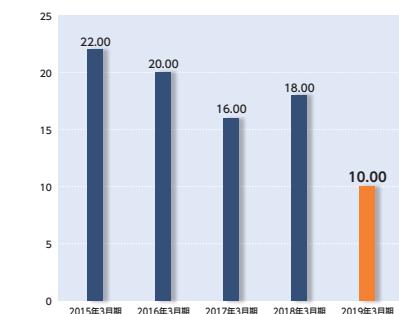
連結売上高 (単位：百万円)



連結経常利益 (単位：百万円)



連結修正1株当たり配当金 (単位：円)



(注) 当社は2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2019年3月期につきましては、当該株式分割を考慮した配当金額を記載しております。2018年3月期期末配当金の内訳：普通配当16円00銭 50周年記念配当2円00銭

### ● 2019年3月期決算（連結）のポイント

災害復旧工事・補強工事に使用される「ケーブル製品分野」の製品売上が好調に推移したこと、M&Aの効果により「コンクリート製品分野」に売上が伸長したこと、グループ各社の相乗効果が発揮されたことなどにより、増収・増益となりました。

同時に、原材料高騰分の価格転嫁の取り組みを徹底し、「利益重視の経営」がグループ全社に浸透しました。

### ● 2020年3月期の連結業績見通し

良好な市場環境が予想される中で、従来からの「ケーブル製品分野」、「鉄鋼製品分野」、「コンクリート製品分野」、「建築金物分野」ならびに「鉄骨加工分野」のさらなるグループ相乗効果と拡販を目指します。

また、豊富な受注残を抱えている「建設コンサルタント事業」と成長分野である「補修・補強工事業」では、若手エンジニアの育成に注力しながら事業拡大に努めます。

### 2019年3月期連結決算ハイライト

売上高	<b>224億12百万円</b> (前期比11.0%増)
経常利益	<b>10億79百万円</b> (前期比2.6%増)
配当金	<b>10円</b>

### 2020年3月期連結業績予想

売上高	<b>228億円</b> (前期比1.7%増)
経常利益	<b>11億50百万円</b> (前期比6.6%増)
配当金	<b>10円</b>

## ● 事業の状況

エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。

### 建設用資機材の製造・販売事業

(株)エスイー  
連結子会社：A&Kホンシュウ(株)  
エスイー鉄建(株)



売上高 **95億94百万円** (前期比 10.6%増)



災害復旧工事に用いられるケーブル製品をはじめ、橋梁補強工事および海外港湾向け製品の販売が堅調に推移し、価格改定にも成果が見られ、売上・利益は堅調に推移しました。コンクリート製品分野では、福島県各市町村および民間の工事の施工が順調に進み、ESCON製品の販売も本格化したことが当事業の売上・利益に大きく寄与しました。

### 建築用資材の製造・販売事業

連結子会社：A&Kホンシュウ(株)  
エスイー鉄建(株)



売上高 **98億96百万円** (前期比 13.4%増)

建築金物分野では、オリンピック関連や首都圏の大型再開発需要により売上が増加しました。鋼材や配送コスト等の価格高騰が続く中、販売価格への転嫁と生産効率の向上を続けています。一方、建築鉄骨分野では、一部の大型鉄骨工事で製造工程が集中したことで設計費・外注費等の追加原価が発生することになりました。



### 建設コンサルタント事業

連結子会社：(株)アンジェロセック



売上高 **8億75百万円** (前期比 29.0%増)



「コートジボワール国 アビジャン3交差点建設事業詳細設計調査」、「ブルキナファソ国 ワガドゥグ東南部タンソンバイパス道路改善計画詳細設計」、「ジンバブエ国 南北回廊北部区間道路改修計画詳細設計」など比較的利益率が高い詳細設計業務 (DD) 案件が完工し、道路橋梁分野・設備機材整備・環境改善等で順調に売上を伸ばし、増収・増益となりました。

### 補修・補強工事業

連結子会社：エスイーリペア(株)  
(株)ランドプラン



売上高 **20億46百万円** (前期比 3.4%減)

水力発電所の導水トンネル工事および水圧鉄管の補修・補強工事などの大型工事や国土交通省・NEXCOの元請工事を受注するなど積極的に事業を展開しております。

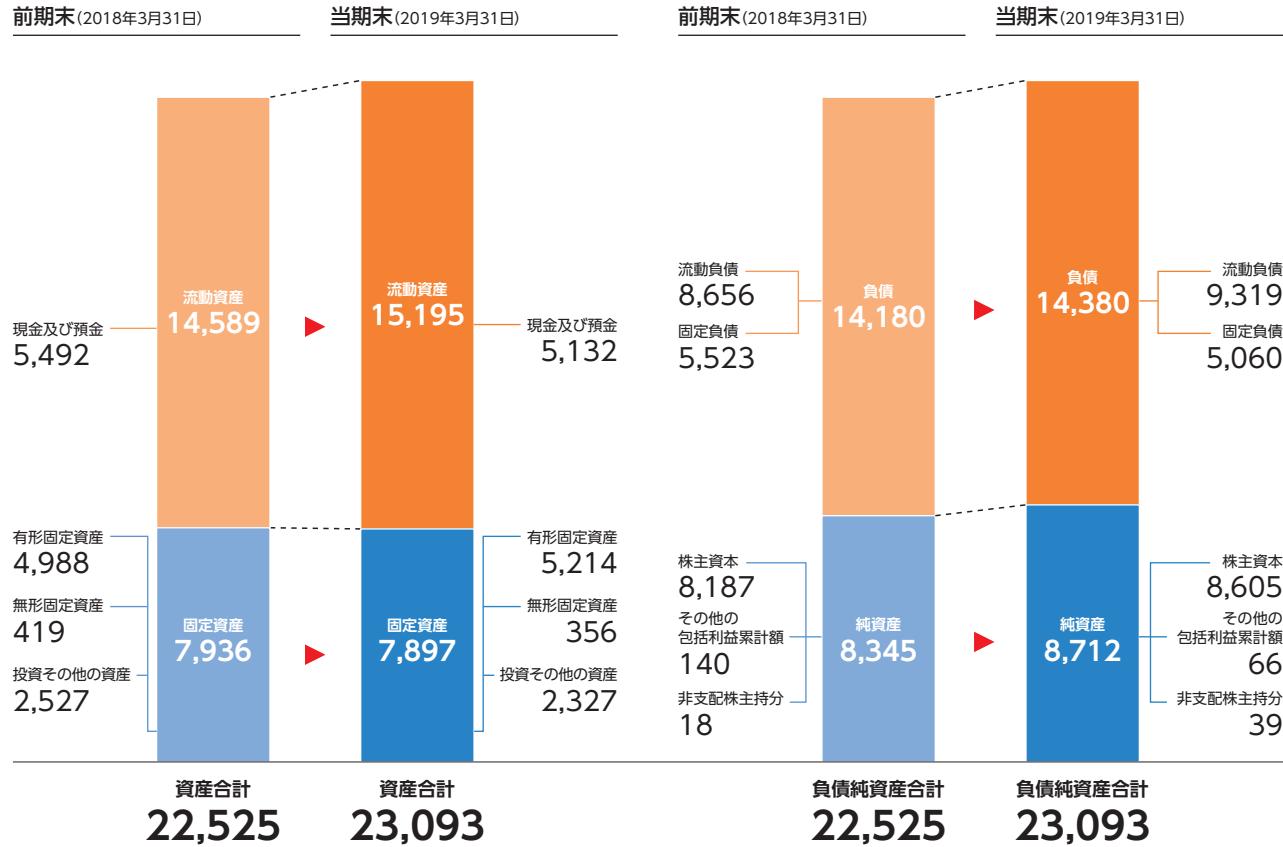
当連結会計年度においては、一部の大型線越工事で工程遅れによる工事進捗の遅延等により、前年実績には若干届かなかったものの、売上・利益ともに期初の計画を達成できました。



※売上高および売上高構成比は端数処理をしております。

## ● 連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要旨）（単位：百万円）



#### POINT①

資産の増加の主な要因は、現金及び預金が借入金の返済を進めたことで3億60百万円減少いたしましたが、受取手形及び売掛金が4億87百万円、たな卸資産各種が4億24百万円増加したことなどによりです。

#### POINT②

負債の増加の主な要因は、長期および一年内の借入金・社債が5億91百万円、未払法人税等が59百万円減少いたしましたが、支払手形及び買掛金が9億34百万円増加したことなどによりです。

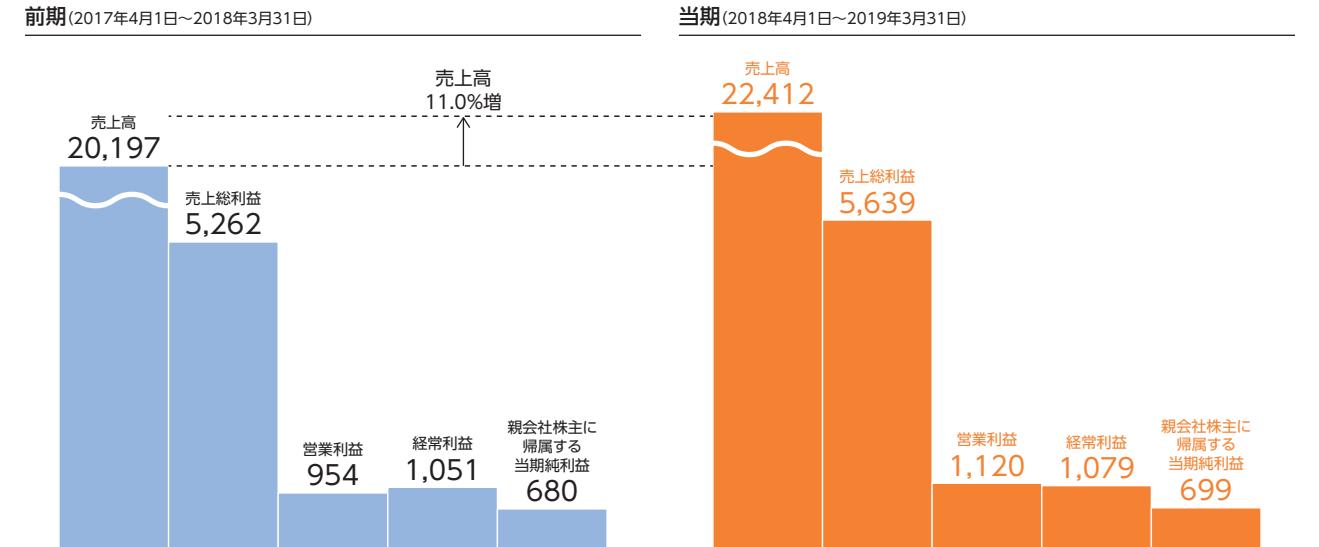
#### POINT③

純資産の増加の主な要因は、株主配当金の支払により利益剰余金が2億69百万円、その他の包括利益累計額合計が73百万円減少いたしましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が6億99百万円増加したことなどによりです。

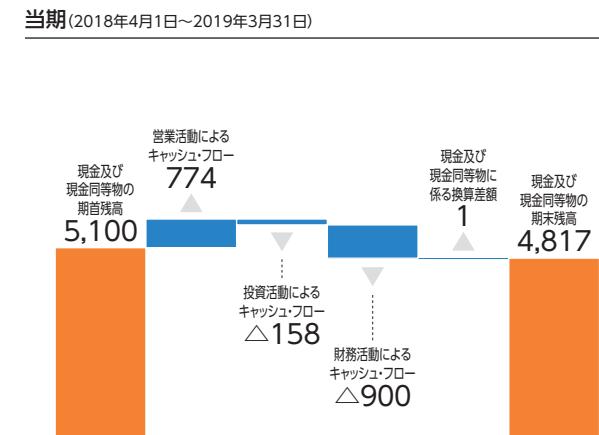
より詳しい財務情報は、IR情報サイトをご覧ください。 [エスイー IR 検索 http://www.se-corp.com/ir/](http://www.se-corp.com/ir/)

(注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

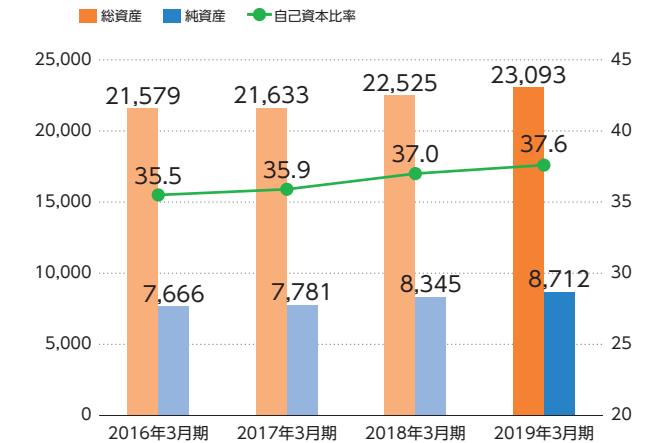
### 連結損益計算書（要旨）（単位：百万円）



### 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

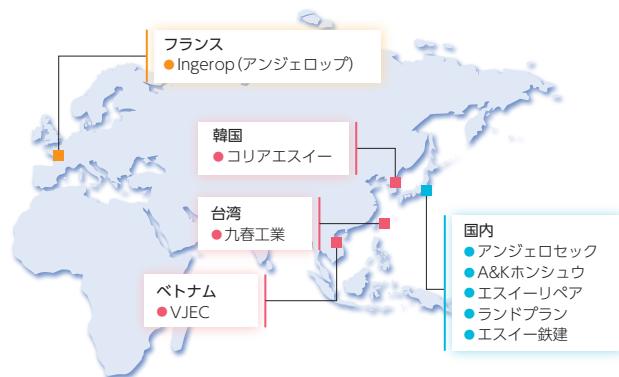


### 総資産・純資産（単位：百万円） 自己資本比率（単位：％）



## ● 会社情報 (2019年4月1日現在)

商号 株式会社エスイー  
 所在地 〒163-1343  
 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 (新宿アイランドタワー)  
 創業 1967 (昭和42) 年8月  
 設立 1981 (昭和56) 年12月  
 資本金 12億2,805万円  
 従業員数 単体166名、連結498名  
 グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売  
 ・ケーブル製品分野  
 ・鉄鋼製品分野  
 ・コンクリート製品分野  
 2.建築用資材の製造・販売  
 3.建設コンサルタント  
 4.補修・補強工事  
 5.その他  
 関係会社 (株)アンジェロセック (連結)  
 A&Kホンシュウ (株) (連結)  
 (株)北都運輸 (連結)  
 エスイーリペア (株) (連結)  
 (株)ランドプラン (連結)  
 エスイー鉄建 (株) (連結)  
 (株)コリアエスイー (持分法適用、韓国)  
 日越建設コンサルタント (VJEC) (非連結、ベトナム)  
 九春工業股份有限公司 (台湾)  
 協力会社 アンジェロップ (フランス)



## 役員 (2019年7月1日現在)

### ■取締役・監査役

代表取締役会長  
執行役員会長 森 元 峯 夫  
 代表取締役社長  
執行役員社長 宮 原 一 郎  
 取締役 執行役員副社長 岡 本 哲 也  
 取締役 執行役員 申 田 信 行  
 取締役 執行役員 杉 山 浩 之  
 取締役 執行役員 滝 沢 力  
 取締役 執行役員 野 島 久 弘  
 取締役 (社外取締役) 岡 俊 明  
 取締役 (社外取締役) 平 野 尚 也  
 監査役 (常勤) 鈴 木 章 二  
 監査役 (社外監査役) 菅 澤 喜 男  
 監査役 (社外監査役) 寺 石 雅 英

### ■執行役員 (取締役を兼任するものを除く)

執行役員 中 村 賢 一  
 執行役員 和 田 弘  
 執行役員 石 野 隆 之  
 執行役員 岡 野 康 雄  
 執行役員 小 松 真 彦  
 執行役員 柴 田 篤 久  
 執行役員 市 川 真 佐 史

## ● 株式情報 (2019年3月31日現在)

### 株式の状況

- 発行可能株式総数 54,800,000株
- 発行済株式の総数 31,256,600株 (うち自己株式1,348,528株)
- 株主数 4,845名
- 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社エヌセック	10,810,000	36.1
大津哲夫	980,000	3.2
岡本哲也	970,000	3.2
高橋謙雄	710,000	2.3
日本マスタートラスト信託銀行 (信託口)	544,400	1.8
鈴木昭好	520,000	1.7
竹島征男	402,600	1.3
佐藤広幸	360,000	1.2
株式会社横浜銀行	300,000	1.0
森元伸一	240,000	0.8

(注) 持株比率は、自己株式 (1,348,528株) を控除して、計算しております。

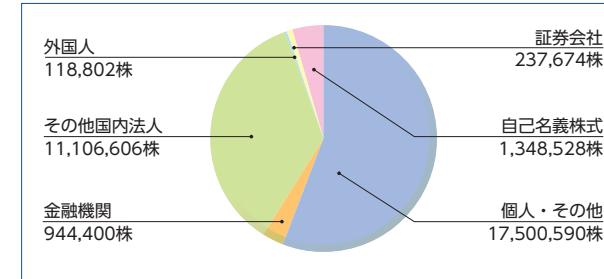
### 株主優待のご案内

株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするため、今期も株主優待を実施いたします。2019年3月31日現在の株主名簿に記録された20単元 (2,000株) 以上の当社株式を保有されている株主様を対象に、災害時に備える防災用品 (非常食を含む) ならびに、一般用品を含めた複数の品目リストより株主様が選ばれた一品目を贈呈いたします。

保有期間	優待内容
3年未満	災害時に備える防災用品 (非常食を含む) ならびに、一般用品を含めた複数の品目 (一律1,000円相当) リストの中から株主様が選ばれた優待品一品目。
3年以上	災害時に備える防災用品 (非常食を含む) ならびに、一般用品を含めた複数の品目 (一律3,000円相当) リストの中から株主様が選ばれた優待品一品目。

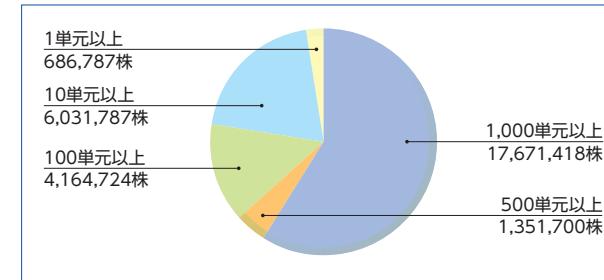
※1 期限までにお申し込みがない場合、当社より社会貢献団体への寄付 (優待内容相当額) とさせていただきます。  
 ※2 「株主優待のご案内」は、別送させていただいておりますのでご注意ください。

### ●所有者別株式分布



※「その他国内法人」には証券保管振替機構名義株式 (1名2,000株) が含まれております。

### ●所有株式数別株式分布



※「所有株式数別株式分布」には自己株式および1単元未満のみ保有の株式を含めておりません。

※「所有株式数別株式分布」には証券保管振替機構名義株式 (1名4,000株) が含まれております。